



熱性けいれんについて



熱性けいれんとは・・・主に生後6ヶ月くらいから5才までの間に38度以上の発熱の時に起こるけいれんを指します。多くの場合、発熱して2日以内に起こります。

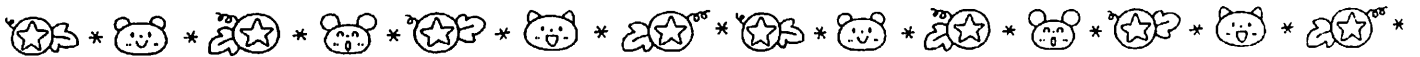
100人中萎文人は、熱性けいれんになるくらいありふれた病気です。半萎文の人は、一生のうち1回しかありません。突発性発疹症の時に、熱性けいれんになることが多いです。

けいれんの症状は・・・全身カガ入るもの、カクカクと手足が震えるものや、一点をじーっと見たり、白目をむいたり等様々です。

・15分以上続くけいれんや、24時間以内に繰り返しけいれんが起る場合は注意が必要です。また、熱がないのに、けいれんが起る場合は、検査が必要です。

・熱性けいれんになったことがある方でも、けいれん予防の薬は、必要無い場合がほとんどです。繰り返しけいれんが起る場合や、けいれんの時間が長かった場合は、担当医と相談の上、薬を使用することがあります。

発熱時に解熱剤を使うことで、熱性けいれんの発生を予防することは出来ません。また、解熱剤を使ったことが原因で熱性けいれんが増えることもありません。



病児保育室の利用が Web で利用できるようになりました

○福岡市内にお住まいの方は、病児保育室の予約を web で手続きができるようになりました。夜間の予約も可能となり、月曜日や休日の翌日の予約も可能になりました。

○福岡市外にお住まいの方、登録番号がご不明な方は、今まで通りご利用当日の朝、8:15以降に病児保育室までお問い合わせください。



福岡市病児・病後児デイケア事業実施施設

病児保育室ぐうぐう

〒812-0879 福岡市博多区銀天町 1-2-11

TEL 080-9243-9213

空メール送信でメールアドレスを登録してください

googoo@hoiku.net489.jp



バックナンバーはホームページでご覧になれます

<http://www.takagishi-googoo.com/>